

林業技術センター
普及班便り
(第66回)

いわての 林業人45

1 はじめに

今月の普及班便りでは、平成28年度岩手県林業経営推奨行事で最優秀賞を受賞した遠野市附馬牛町の早池峰椎茸分収造林組合（組合長 江川幸男氏）をご紹介します。

2 経営森林面積

経営森林は広葉樹を主体に、約189ヘクタールです。

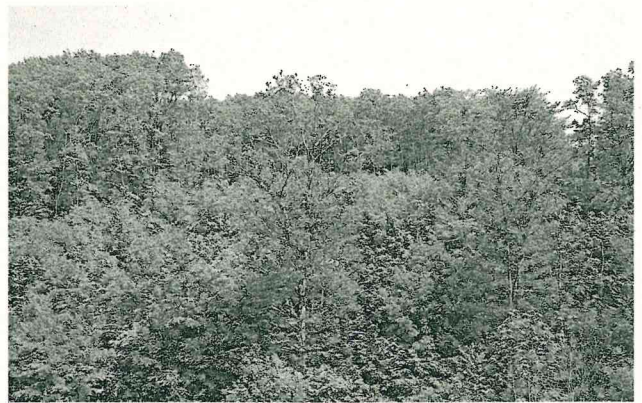
3 経営目標

早池峰椎茸分収造林組合は、人工林の全ての林分について、適期適作業に心がけており、伐採後の萌芽整理や下刈から除伐作業までの一連の保育作業を継続実施し、しいたけ原木の安定生産を目標とした林業経営を行っています。

4 経営の概要等

早池峰椎茸分収造林組合は、しいたけ原木生産を柱とした林業経営に取り組んでいます。

国有林と分収林契約を結び、毎年



原木生産後、更新が進んだ経営森林

計画的にコナラの植栽を行い、原木生産を行った後に、萌芽更新を行い、65年で3回転する計画で施業を行っています。

原発事故の放射能汚染対策のため、原木出荷の判定の可否である、基準値内50ベクレル以下のしいたけ原木であることを確認し、出荷しています。

また毎年コンスタントに22,000本のホダ木を組合員と地域のしいたけ生産者に供給するため、極力樹皮に傷を付けないように気を付けながら、積極的な生産に取り組ん

でいます。

5 おわりに

早池峰椎茸分収造林組合の取組は、しいたけ原木生産の手本となるものであり、今後も地域林業のけん引役として、御活躍を期待しています。



江川さんと後継者の息子さん

林業技術センター普及班

019(698)1337